

# 第 1 7 期 貸 借 対 照 表

(平成28年3月31日現在)株式会社エスエルシー運輸東日本

科 目	金 額	科 目	金 額
	千円		千円
<b>【 資 産 の 部 】</b>	<b>【432,422】</b>	<b>【 負 債 の 部 】</b>	<b>【218,265】</b>
( 流 動 資 産 )	(346,066)	( 流 動 負 債 )	(180,542)
現金及び預金	35,706	短期借入金	20,000
売 掛 金	100,760	未 払 金	60,846
貯 蔵 品	49	未 払 費 用	34,641
前 払 費 用	13	未払外注費用	49,112
繰延税金資産	5,082	未払法人税等	2,760
預 け 金	200,000	預 り 金	1,459
未 収 入 金	4,457	賞 与 引 当 金	11,723
		( 固 定 負 債 )	(37,723)
( 固 定 資 産 )	(86,356)	退職給付引当金	37,723
有形固定資産	72,917		
車両運搬具	30,668	<b>【 純 資 産 の 部 】</b>	<b>【214,158】</b>
工具器具備品	7,539	[ 株 主 資 本 ]	(214,158)
建設仮勘定	34,710	( 資 本 金 )	(30,000)
無形固定資産	574	( 利 益 剰 余 金 )	(184,158)
ソフトウェア	574	利益準備金	3,450
投資その他の資産	12,865	その他利益剰余金	180,708
出 資 金	100	繰越利益剰余金	180,708
長期前払費用	91	(うち当期純利益)	23,621
繰延税金資産	12,674		
合 計	432,422	合 計	432,422

# 個別注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

## 1. 資産の評価基準および評価方法

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法：最終仕入原価法

## 2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産・・・定率法（建物については、定額法）

(2) 無形固定資産・・・定額法

## 3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため設定しており、一般債権については合理的に見積もった貸倒率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上している。

(2) 賞与引当金

従業員の賞与の支払に備えるため、当期に負担する支払見込額を計上している。

(3) 退職給付引当金

従業員の将来の退職給付に備えるため、退職給与規定に基づく期末従業員の退職金要支給額を計上している。

## 4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の処理の方法：税抜方式によっている。

(2) 連結納税制度の適用：連結納税制度を適用している。

以上